

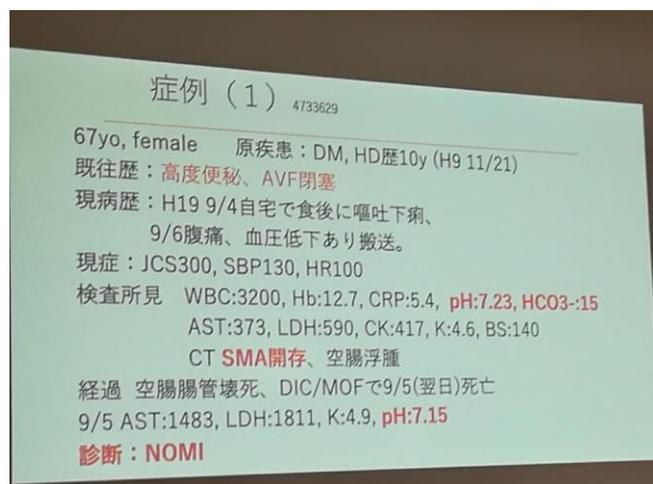
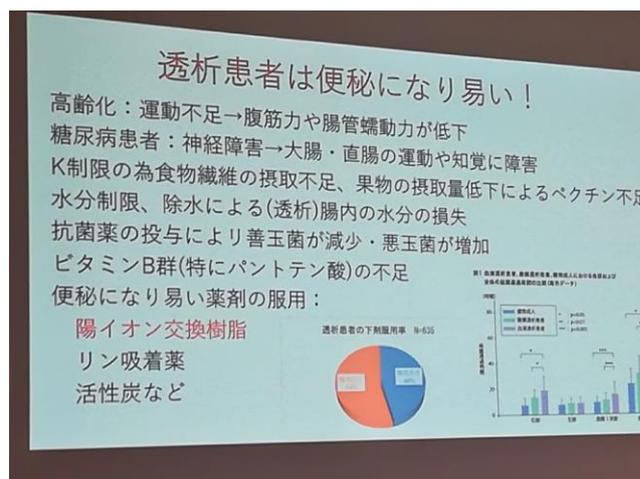
# 教育研修会

日時：R4年9月29日（木） 17時00分から17時30分

場所：新王子病院 4F 会議室A・食堂

症例：透析患者 71才 男性 透析歴11年

講師：小倉記念病院副院長、腎臓内科部長、金井英俊先生



今回の症例は突然の消化管穿孔により敗血症、DICを併発し懸命な治療も及ばず救命できなかった透析症例です。原因として一般的に腸間膜動脈硬化に起因する腸管虚血、排便コントロール不良による糞便貯留、器質的病変などがリスクの因子として考えられますが、透析患者の場合は特に便秘になりやすい原因が様々ありより発症のリスクが高いことが知られています。講義ではよりたくさんの標本や検査画像などを用いての説明であり分かりやすく興味深い内容でした。透析患者さんは様々な合併症を発症されます。当院では学べないことが実際透析患者さん治療経過を聞くことによって学ばせていただける貴重な場でもあります。これからも教育研修会はありますので参加してみてください。